



佐賀大学教職大学院 院生ライフレポート



M1 前期お疲れ様会を開催しました！

前期の授業と、その学びをまとめる課題レポートの提出をすべて終え、みんなで仲良くお疲れ様会を開催しました。会の中で前期の授業で得た学びを振り返り、これからの実践にどのように生かしていくのかを現職とストマスみんなで熱く語り合いました。終始、和気あいあいとした雰囲気でも M1 同士の親睦を深めることができました。



探究実習スタート！

教職大学院一年次の必修履修項目として、ストレートマスターには基盤教育実習、現職教員には異職種教育実習及び関係機関実習が設けられています。前期授業が終わった8・9月に、それぞれ探究実習を行いました。そこで今回は、どのような実習を行ったのか M1 の皆さんにインタビューしました。

実習では、多くの生徒や先生方との交流を深め、今後の実習に向けての基礎作りに取り組んでいます。私は何事にも積極的に関わらせていただき、生徒や先生方のサポートに務めました。その中で、生徒と日頃の学校生活について話をしたり、先生方から現場の話を聞いたりして、中学校の実態を把握するように努めることができました。今後は、この2週間の実習での見聞を生かし、自分の授業力を向上していきたいです。（ストマス Y さん 中学校実習）

9月は、算数の授業実践や日常的な子どもたちとのかかわりの中で、発問の仕方など授業の組み立てを意識して取り組んできました。後半の実習では、9月で培った子どもたちとの関係性を活かしつつ、児童が周囲との関わりの中でどのように学んでいるかを丁寧にデータ収集し、研究内容に即した分析をしていきたいと思えます。（ストマス A さん 小学校実習）

私たち教育経営探究コースの5名は、それぞれ、県市町教育委員会や教育事務所でのお世話になり、機関実習を行いました。実習では、日々の業務の補助等を行いながら、教育機関がどのように学校や教職員を指導し支援をしているのか、また、どのように学校現場との連携が図られているのかなどを学びました。これまで経験したことがないことも多く、緊張しながら実習を行いましたが、学校の組織づくりや教職員の資質や能力の向上等について視野を広げる機会となり、今後の研究を進めていくうえで、大きな学びとなりました。（現職 K さん 関係機関実習）

子ども支援探究コースの現職院生は、合計20日間の実習の中で様々な研修を受けながら、不登校生の通級施設である県教育支援センターでの通級生対応や児童相談所での一時保護児童の対応、児童養護施設等の関連施設を視察しました。学校現場では見えなかったそれぞれの実態を学ぶことができ、これからは学校内外との連携をより俯瞰的に検討し、関わる子どもの将来につなげることができるようにしていきたいです。ストマス院生は、佐賀市内中学校での実習が9月から始まっており、まだ参観の段階ですが、自身で授業や学級経営をする視点を持ちながら学んでいます。（現職 N さん 関係機関実習）